

施術【白髪染め】

ヘナセミナー教材③-1



1. 白髪染めとして



Before



After

白髪を染める場合、新生部（根元部分）は染毛しづらく一方、繰り返し染毛している既染部（毛先部分）は徐々にトーンが下がる傾向があります。

髪全体の色のバランスを考慮し、新生部と既染部を分けて施術（ツータッチ施術）をすることで、自然な髪色の仕上がりを保つことができます。



1-2. 白髪を黒系や濃い茶系に染める

白髪を染める場合は、コーリーズ「カフェブラック」「ダークモカ」「ショコラブラウン」「マロンブラウン」の4色から選択することが基本となります。

化学成分を主原料として作られるヘアカラーとは違い、2回、3回、と繰り返し使用することによって、艶やかな、自然な染上がりになっていきます。特に、白髪染めの主なケース、**新生部（根元部分）の白髪部分を、しっかりと染めたい**、この場合は「カフェブラック」「**ダークモカ**」が最適な選択肢となります。



カフェブラック

インディゴ（ナンバンアイ葉）の配合量が多く、黒に近い濃い茶色に染まる



ダークモカ

インディゴの配合量が抑えられ、濃い目の茶色（若干マッド系）に染まる



1-3. カフェブラック・ダークモカの主な用途

基本的に、新生部（根元部分）の白髪を染毛するために使用します。

既染部（毛先部分）はレッド、ハーバルレモンなどを残ったペーストに加えて、ツータッチ施術をします。

ワンタッチで施術をすると、既染部のトーンを下げてしまう結果になります。



2. ツータッチ施術の方法



新生部を塗る



既染部をもみ込みながら塗布

■ ツータッチ施術の方法は2種類あります。

- ① 2色を使った施術方法・・・全体的に明るい色調に白髪染めを希望しておられる場合、この施術が有効です。
- ② 同色を使った施術方法・・・全体的な色調が比較的暗く、新生部と既染部の色調バランスの崩れが少ない場合の施術です。



2-1. 2色を使ったツータッチ施術の方法

1. 白髪の新生部（根元部分）に「カフェブラック、ダークモカ」など色の濃いペーストを塗布します。
2. 塗布し終わったら、**既染部（毛先部分）とのトーンバランスの“崩れ”を確認し**、①もしくは②のペーストで既染部の施術に移ります。
 - ① 新生部に使用した残りに、レッド、ハーバルレモン等を足したペースト
 - ② レッド、ハーバルレモン等で、新たに作ったペースト
3. **既染部（毛先部分）の施術は、トリートメント効果を高めるために、しっかりと“もみ込み”をしながら施術します。**
4. 使用するペーストは、容易に施術できるよう、コーンスープ程度に緩くしたものを使用します。
5. ラッピングをし、ヒートキャップをかぶり加温、クールダウン後、洗髪します。これにより、既染部も、十分なトリートメント効果が実感でき、しかも、“崩れ”ていた既染部と新生部のカラーバランスを整えることが可能になります。



2-2. 同じ色を使ったツータッチ施術の方法

1. 白髪の新生部（根元部分）に、毛髪を埋め込むように、ペーストを塗布します。とくにヘアーライン部分は、ペーストの乗り具合を確認しながら、しっかりと塗布します。
2. 塗布し終わったら、既染部（毛先部分）の施術に移ります。既染部（毛先部分）の施術は、トリートメント効果を高めるために、しっかりと“もみ込み”をしながら施術します。
3. 既染部に使用するペーストは、新生部に使用したペーストの残りに、お湯を足して、容易に施術できるよう、コーンスープ程度に緩くしたものを使用します。
4. 加温を25～30分し、少し長めに（20分以上）クールダウン後、洗髪します。
これにより、根元はしっかり染まり、既染部はトーンを下げずにトリートメント効果が発揮され、既染部と新生部のカラーバランスの良い、自然な仕上がりになります。

